



車戸 明良 議員

市温浴施設で木質バイオマス（間伐材・廃材等）を利用した熱供給事業を！

自然エネルギーの推進について

【問】検討委員会の提言による民設民営の、木質バイオマスによる熱供給ビジネスの実証事業の取り組みは。

【答】地域の民間事業者が事業を行い、得られた熱を温浴施設が受けるシステム。来年度は市の施設でパイロット事業として取り組む。

小水力発電の推進について

【問】最近、小水力発電の事業が注目されている。地域が自ら出資する主導型と事業規模が数億円となる場合においては、資金調達や知見の獲得等の課題があるため、地元民間会社と地域がともに共有・

出資する地域参画型がある。地域への配慮や利益の大半が地元で循環するなど地域振興にも期待される。事業展開状況と市の支援体制は。

【答】奥飛驒温泉郷で、複数の町内会等が一体となり市外事業者と研究会を設置し検討している。

地域参画型は、丹生川町で地域と市内事業者の出資により会社を設立し施設整備に向かいつつある。市内各地でも同様に取り組みが進もうとしている。なお支援体制は、基本的な知識・技術面でのアドバイス、水利権など様々な法的な手続きの相談等のサポートを強化し、経費の助成、利子補給などを行う。



木本 新一 議員

国際交流の転換期に向けて

総合的な観光まちづくりを！

【問】外国人観光客のニーズに対応するために英語圏からのCLEAR国際交流員の必要性は。

【答】多岐にわたるニーズの対応に尽力している。国際交流員の必要性については教育委員会に配属されている13名のALTに依頼する。

【問】増加する外国人観光客の幅広いニーズと満足度を高めるために、周辺地域へ拡大し総合的な観光まちづくりを推進できないか。

【答】外国人観光客の価値観では、地域の環境・文化が魅力ある観光資源となり得る。今後関係者と連携し、周辺支所地域への絞った誘客も本格的に進める。

御嶽高トレエリアのこれから？

【問】2020年東京オリンピック以後も地域の活力に繋がるエリアとしていくための方策は。

【答】利用者が夏季に集中する事や海外からの利用もあり、受入れ体制の更なる充実と宿泊施設の整備も必要である。今後周辺宿泊業者や民間活力も含め、その対応を検討していく。

【問】高トレエリアの利用者が増加し、施設利用が混雑する中で鈴蘭高原ゾーンの活用は。

【答】鈴蘭高原ゾーンの利用は夏季における利用者の分散化とともに他のゾーンにない特色ある合宿誘致も考えられ、冬季の活用も含め積極的に発信していく。



水門 義昭 議員

目指せ全国大会!! 更なる部活動の充実。老朽化する公共施設の今後の考え方は？

中学校の部活動のあり方を見直すべきでは

【問】生徒数の減少により生徒の将来の夢を掴み取る様なことのない部活種目の設置は出来ているのか。

【答】生徒数の減少により部活種目の編成が困難な学校もあり、近隣中学校との合同の部活動は出てきている。

教員の部活動指導の時間的負担が大きい。改善すべきでは

【問】外部指導員の活用も含め、部活動への教員の負担を考えてみる必要があるのでは。

【答】部活動の考え方を教員、保護者会、地域の方々も根本的に考え直さなければならぬ時期が来る。全ての関

係者の意識改革が必要。

【問】総合型地域スポーツクラブの設置により、外部指導員の導入を考へては。

【答】今後さらに生徒数が減少する中で、外部指導員を考へていかなければならない。

将来の公共施設の更新はどのような方向性で考へるのか

【問】公有公共資産は多く、建て替えなど更新は財政的に困難だが、今後の考え方は。

【答】公共施設白書で明示したが、今後は公共施設の「量的な見直し」「質的な見直し」の方向性で、これから策定する公共施設等総合管理計画の中で更新、長寿命化、廃止、統合の方針をまとめていく。